



オリーブ通信

2019年
4月号
2019.4.13発行
第210号

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

あたらしい
なかまを
しょうかい
します



ゲン フー バン



エルディダ トラ メガン



ウー ヴァン カー



フン ハイ ヒエップ



フン ドラック ヒエップ



ドウオン ティ クック



史 茂美

中川先生のへんてこ日本語 105

アンパンマンショップ

身元保証を引き受けている中国の留学生から電話がかかってきた。「引越すことになった。近いうちに不動産屋のアンパンマンショップから電話があると思うので、よろしく。」との内容である。「アンパンマンショップ?そんなの聞いたことがない。」「どこにもある。」「という。電話口でやり取りを聞いていた娘が、「それ、アパマンショップだわ。」「それなら聞いたことがある。うちの近くにもある。」

普段利用しているJRの駅改札口で、「安心カードをタッチしてください。」と聞こえるので、「へえ、そんなカードがあるんだ。」と思っていたが、それが「ICカード」であることに気付いたのは、ごく最近である。

人は、耳慣れぬ言葉を聞いた時、自分の守備範囲内で処理してしまおうとするきらいがある。こんなこともあった。

中国の留学生が、「コウタクミ」って知っていますか。」「というので、「中国の元首相でしょう。」「と答えると、「いやいや、日本の歌手です。』という。「ああ倅田来未(こうた くみ)か。』とおかしくなった。

このような聞き違いは、通常文脈の流れから気付くことが多いが、コミュニケーションをうまく成立させるためには、「意味交渉」という作業を行う。つまり聞き返したり、別の言葉で言ってもらったりして、理解・納得できるまで意味確認を行う。コミュニケーション能力の一つとして、この「意味交渉」はきわめて重要であるが、Japanese Smileで笑ってごまかすだけでは会話は成立しない。アンパンマンよろしく、会話はまーるく収めたいものだ。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



まちセン16周年イベント

3月2日土曜日、まちづくりセンターで「登録団体 全員集合!!～笑顔でつむぐ 草津の未来～」と題したイベントが行われました。午前中のステージ発表には子供たちのヒップホップダンスがあり、会場は活気にあふれていました。若い世代の人がたくさんいて華やかでいい感じ。オリーブで勉強しているペルー人ニノスカさんの子ども達もステージで元気に踊っていました。

休憩時には運営協議会が作ってくれたカレーに舌鼓。300円。安い！オリーブのまちセン担当田中一美さんも前日からカレーの仕込み、当日の盛り付け、後片付けと骨身を惜しまずの働きぶり。いつもありがとうございます。

さて、午後からのステージ発表にはいよいよオリーブ中国人グループが登場。実はオリーブもまちセンの登録団体で、いろいろ便宜をはかってもらっている以上、年に一度の周年イベントには何かで協力せねばと思い、ステージ発表での参加を申請していました。1月のオリーブ新年会で各国のグループが「わたしの国のおいしい料理」を発表してくれたので、その中から誰かに出てもらえばそんなに準備もいらなだろうと軽く考えていました。当初「ベトナムグループはどう？」「いいんじゃない？」と数人の先生たちで勝手に決めていたら、ベトナム人たちは全員当日の都合がつかないというではありませんか！「えー！どうしましょう。もう時間がない！」焦りに焦りました。が、そこに救いの神が！困ったときの田中三千彦先生頼みというわけで、田中三千彦先生に窮状を訴えたところ、二つ返事で仲介を聞き入れてくださり、中国グループの参加承諾をとりつけてくださいました。ありがたやー！

中国グループは、短い準備期間の中、なんと発表内容も新しく練り直してくれたのです。発表は6人がマイクをまわしつつオリーブの新年会の様子やほかの国の料理の紹介、そして中国チームの料理の紹介と続きました。素晴らしい発表でした。みなさんお疲れ様。本当にありがとうございました。着物もとっても似合っていました。

ただ、残念だったのは、発表が15団体中13番目と後半だったので、お客さんが少なかったこと。もっとたくさんの人に聞いてほしかったです。

また、この日は昨年が続いて着物の着付け体験コーナーが設けられていて、インドネシアの生徒さんたちが着物を着て写真を撮りまくっていました。楽しそうで何よりでした！

レポート：恩地



満開と快晴に恵まれたお花見！



集合写真を撮りましたが疎水沿いのあまりの混雑に
全員招集できず数名欠けております



ビール持参で宴会の準備万端です



花より団子状態の昼食が終わった後は、自由行動。すっかり宴会モードのベトナム・グループを残して、もっと近くを散策したいというグループは桜を見に、先生と中国人グループはさらに長等公園まで足を延ばして桜を鑑賞。そしてそこから大津駅まで歩き帰路に着きました。けっこう歩きましたが、行く先々で美しい満開の桜を観られて本当に心地よい一日となったお花見でした。（豊村）



最初予定されていた3月31日には、寒さでまだつぼみ状態だった桜も4月7日には1週間前とは打って変わって満開、そして快晴の絶好のお花見日和となりました。参加者は約30名、先生、生徒さん、生徒さんの友達、先生のご家族、とたくさんの方が参加されました。

石山駅から京阪で三井寺駅へ。疎水沿いに三井寺に向かう道は観光客で大混雑、車は大渋滞。三井寺にむかって歩き始めると正面に桜の霞たなびく美しい山が徐々に見えてきて、お花見気分が一気に盛り上がってきました。

絶好の写真撮影ポイントである途中の橋まで来ると、

思わず団体行動よりも各自きれいな写真を撮るのに夢中になってしまい、ここでもう自由行動に移った生徒さんも若干名いたかもしれません(笑)。皆さん、思い思いに桜を鑑賞し写真を撮影されていました。それにしてもベトナム、中国の人は写真好き、思い切りポーズをとって撮り合っていました。

疎水沿い→三井寺→浜大津(昼食)と考えていたのですが、三井寺への道中、参加者のベトナム人生徒が「先生、昼ご飯はどこで食べますか？」と聞いてきました。見ると、両手に大きなビニール袋を重そうに抱えています。

準備万端、昼食を買って持ってきていたのです。

そういわれてみれば、もう12時半頃になっていました。

そこで予定を変更し、三井寺入口そばの広場でお弁当を広げることになりました。桜の木の下でとまではいきませんが屋台も出ていて恰好の場所でした。



みんなで乾杯！





先月の活動 (3月)

日本語教室 3/2(M), 9, 16, 30 (4回)
 まちセン16周年イベント前日準備 3/1(金) (田中一)

まちセン16周年イベント 3/2(土)
 カレー調理手伝い (田中一)
 ステージ発表 楊康、孫兵、彭鵬、劉娟、秦可、袁晶晶、(田中三)



今月の活動予定 (4月)

日本語教室 4/13(M), 20 (2回)
 有志お花見 4/7(日) (豊村)
 KIFA 理事会 4/12(金) (恩地)
 KIFA 総会 4/20(土) (豊村)
 まちセン運営協議会全体会 4/19(金) (田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング

●()内は参加者または参加予定者。敬称略



参加人数 (3月)

	3/2	3/9	3/16	3/30
生徒	47	39	39	32
先生	20	22	22	19



会員の動き (3月)

〈退会〉 津田幸子
 〈入会〉 繁縄裕子

近くに住んでいるので何かの縁と思い入会しました。他では経験できないことなので期待しています。
 繁縄裕子

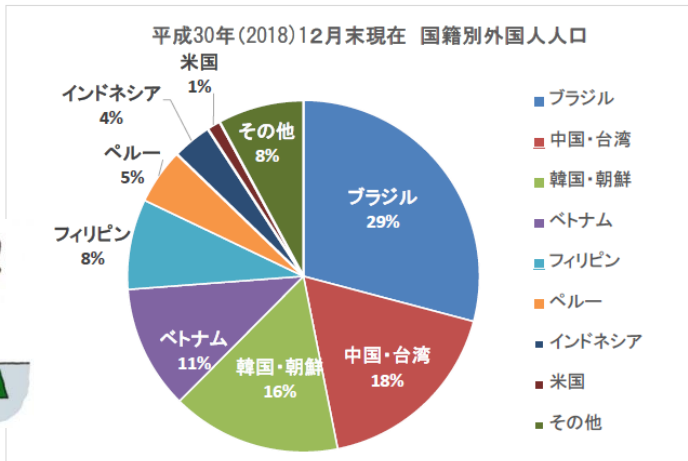


お知らせ



滋賀県の2018年12月の外国人人口数が発表されました。表を見ると一旦減少したブラジル人が徐々に増えていること、ベトナム人の急激な伸びが見てとれます。オリーブでもベトナム人が増えているのはみなさん体感されていると思います。在留資格に特定技能が新設され、運用が開始されたこれからはどう変化していくのでしょうか。現在県民48人に1人が外国人だということです。

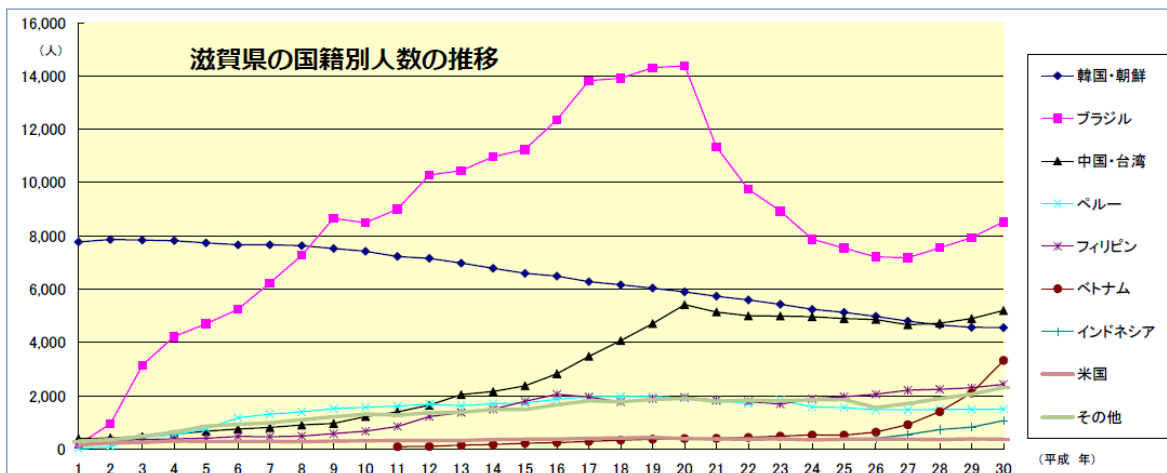
滋賀県における国籍別外国人人口



公益財団法人滋賀県国際協会 作成

国籍	人口数	前年度比
ブラジル	8,525 人	+591
中国・台湾	5,194 人	+296
韓国・朝鮮	4,553 人	△14
ベトナム	3,325 人	+1219
フィリピン	2,428 人	+134
ペルー	1,497 人	+13
インドネシア	1,060 人	+244
米国	365 人	△10
その他	2,316 人	+257
合計	29,263 人	+2,730

*国籍数等:100ヶ国1地域 (+7か国)



編集後記：もうすぐ大型連休。元号も変わります。そして来年には東京オリンピック。その喧騒の中でわたしたちは何かから目をそらすよう仕向けられているのでは？と考える今日この頃ではありました。そんなときニュースで東大の上野千鶴子さんの新入生に向けた祝辞を聞きました。ハッと目が覚め、背筋が伸びる感覚がありました。「弱者が弱者のままで尊重される社会」忘れないようにしたいです。(MO)